

日本一長いみやぎの運河群の 各取組状況

令和4年12月26日

NO, 1

宮城県
土木部河川課

日本一長いみやぎの運河群の 取組状況

～貞山運河再生・復興ビジョンの取組～

宮城県 土木部 河川課



貞山運河再生・復興ビジョン 平成25年5月策定

〔策定の趣旨・位置づけ〕



震災前から貴重な土木遺産として、様々な利活用策が行われてきた運河群では、東日本大震災で壊滅的な被害を受けましたが、単なる復旧に留まらず、築造400年を経た運河の歴史を未来へと繋ぐ、新たなる再生への取組が求められます。

沿岸地域の復興を成し遂げるには、県が主体となる事業だけではなく、市町や国の実施する事業や計画、民間活力を呼び込む取組を連携し、各主体との協働のもとに、長期間にわたり継続的に地域への関心度を高めていくことが重要です。

こうしたことを背景に「貞山運河再生・復興ビジョン」は様々な主体による復興事業の指針となり、運河群を基軸として、共通の理念のもとに調和を持って推進されるための羅針盤の役割を果たすものと考えています。

貞山運河再生・復興ビジョン（宮城県土木部平成25年5月）より抜粋し、一部加筆



基本理念

運河群（貞山運河・東名運河・北上運河）の歴史を未来へと繋ぎ、
運河群を基軸とした“鎮魂と希望”の沿岸地域の再生・復興

基本方針

人と自然と歴史が調和した、
人々が集う魅力的な
沿岸地域の復興

自然災害に対して粘り強い、
安全・安心な沿岸地域の再生

【4つの基本目標】

- ① 地域にとって誇りある歴史的な運河群としての再生
- ② 自然災害に対して粘り強く強靱な沿岸地域の構築
- ③ 自然環境と調和し共生できる、運河周辺環境の保全・再生の推進
- ④ 継続的な地域間の連携と、未来に向けて発展できる社会環境の構築



10の主要施策と推進体制

【基本目標1】

- ・運河群にふさわしい景観の復元・創出
- ・運河群と調和したまちづくりや施設整備の展開
- ・歴史的な遺構の保全と復元

【基本目標2】

- ・計画を超える災害に対して粘り強い地域社会の構築
- ・多重防御による総合的な防災力の強化

【基本目標3】

- ・自然と共生したまちづくりや施設整備の展開
- ・運河群にふさわしい水質への改善

【基本目標4】

- ・沿岸地域の利活用発展を支える交通ネットワークの整備
- ・未来に向けて発展できる社会環境の構築
- ・国内外との“絆”の強化と、“共感と参加”の拡大

推進体制

貞山運河再生・復興推進会議

【期別の目標】

- 短期：被災した運河群および沿岸地域の一日も早い復旧、復興理念の共有化と参加
- 中期：運河群および沿岸地域における“集いの場”の再生と、広域的な連携の拡大
- 長期：運河群の歴史を未来へと繋ぐ、100年先を見据えたビジョンの発展

これまでのあゆみ【年次表】 みやぎの運河と主な出来事



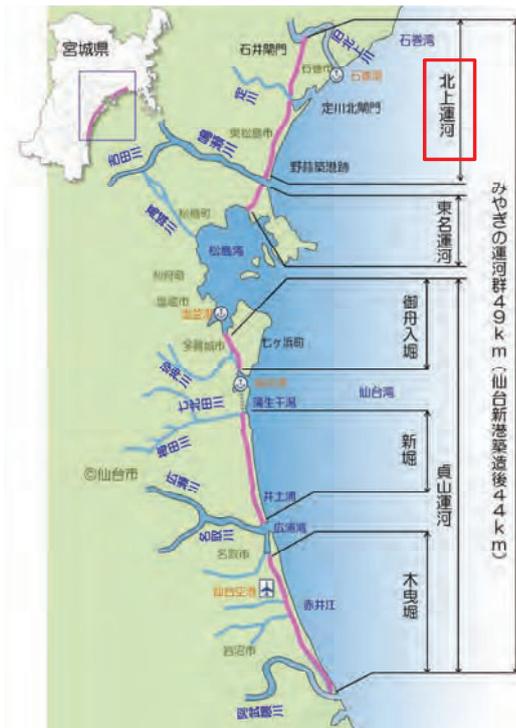
年度	復旧・復興事業	貞山運河再生・復興ビジョン関係	桜植樹等の取組
平成23年3月11日 東日本大震災により、みやぎの運河群沿川では壊滅的な被害が発生			
平成24年度	重要文化財「石井閘門」保全対策検討委員会	貞山運河再生・復興ビジョンの検討座談会（第1回）	桜植樹の取組を開始 桜植樹 仙南浄化センター
平成25年度	環境アドバイザー制度設立	貞山運河再生・復興ビジョンの検討座談会（第2回）	桜植樹会in岩沼海浜緑地
		貞山運河再生・復興ビジョンの策定 貞山運河再生復興会議準備会（第1回）	
平成26年度	石井閘門の補修工事了	貞山運河再生復興会議準備会（第2回）	桜植樹会in多賀城緩衝緑地
		貞山運河再生復興会議（第1回）	
平成27年度		貞山運河再生復興会議（第2回）	桜植樹会in貞山公園 桜植樹 石井閘門
平成28年度	釜閘門 遺構調査委員会	貞山運河再生復興会議（第3回）	桜植樹会in北上運河
	北上運河（北上運河）工事了		
平成29年度		貞山運河再生復興会議（第4回）	全国運河サミットinみやぎ実行委員会設立 桜植樹 明治潜穴公園 桜植樹会in岩沼海浜緑地公園
平成30年度	北上運河（北北上運河）工事了		全国運河サミットinみやぎの開催
	御舟入堀（砂押貞山運河）工事了		
	新堀（七北田川水系南貞山運河）工事了		
	新堀（北貞山運河）工事了		
	木曳堀（五間堀川）工事了		
令和元年度	北上運河（南北上運河）工事了		桜植樹会in仙台多賀城地区緩衝緑地
	東名運河（東名運河）工事了		
	木曳堀（中貞山運河）工事了		
令和2年度	宮城県河川海岸環境配慮指針		桜植樹 仙台市荒浜地区
	木曳堀（名取川水系南貞山運河）工事了		
令和3年度	環境配慮記録誌発刊	貞山運河再生復興会議（第5回）	桜植樹 仙台市荒浜地区 桜植樹 大曲閘門
	日本一長いみやぎの運河群 東日本大震災からの復旧・復興の歩み（記録誌発刊）		
令和4年度	御舟入堀（旧砂押川）工事了（予定）	みやぎの運河群利活用推進会議 設立 みやぎの運河群連絡調整会議 設立（予定）	桜植樹会in赤井江（予定）

5

みやぎの運河群の復旧・復興状況



〔復旧・復興の状況【北上運河】〕



【石井水門 完成式典の様子】



【南北上運河 工事完成】



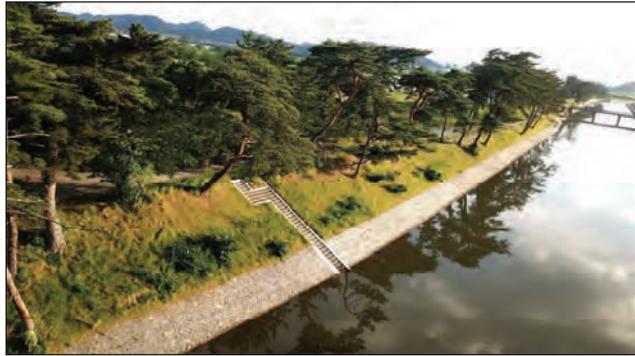
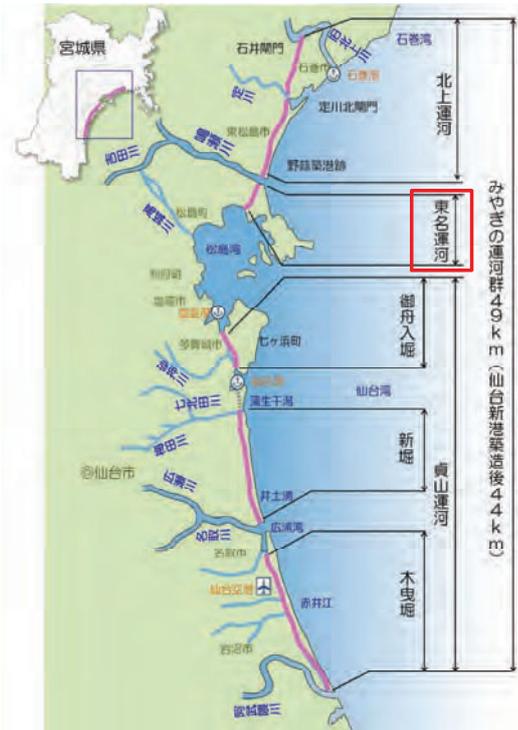
【釜閘門 工事完成】

6

みやぎの運河群の復旧・復興状況



〔復旧・復興の状況【東名運河】〕



【東名運河 工事完成 松並木の保全】

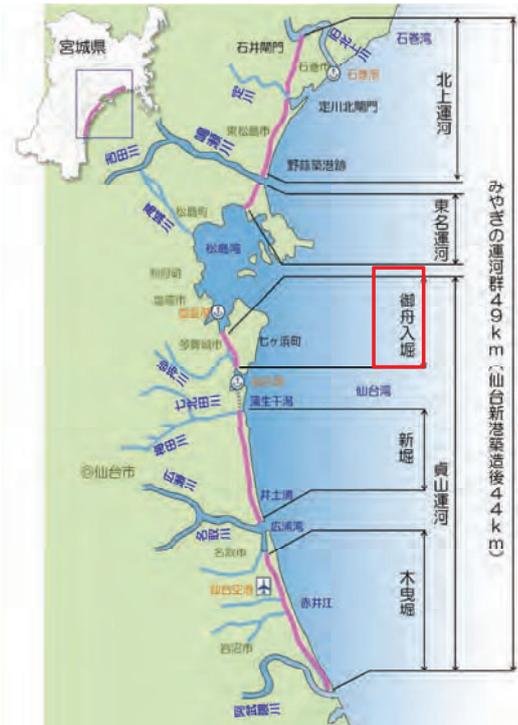


【野蒜水門 工事完成】

みやぎの運河群の復旧・復興状況



〔復旧・復興の状況【御舟入堀】〕



【蒲生干潟の様子】



【御舟入堀工事 完成 旧砂押川】



【御舟入堀工事 完成 旧砂押川】

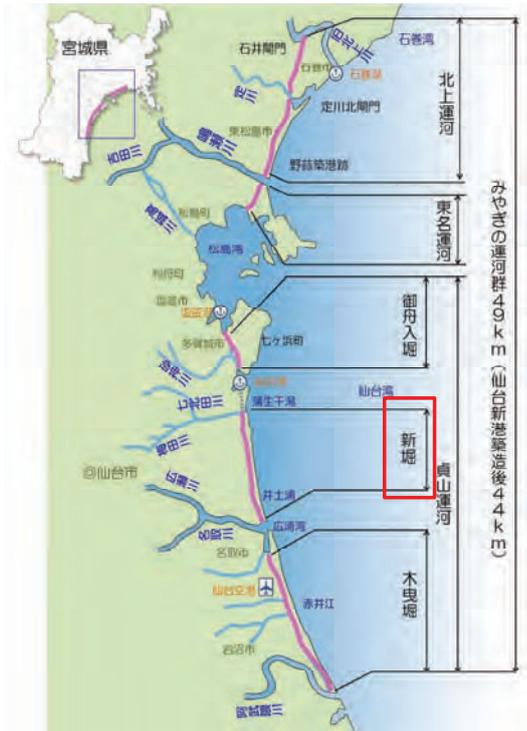


【御舟入堀を散策する様子】

みやぎの運河群の復旧・復興状況



〔復旧・復興の状況【新堀】〕



【新浜周辺の様子】

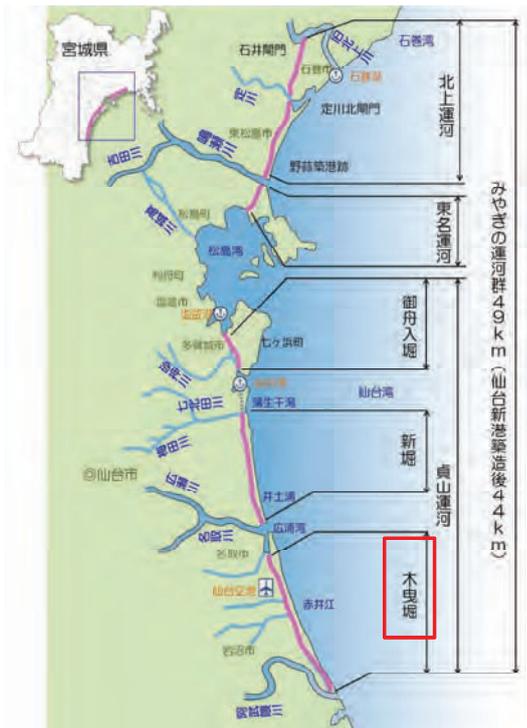


【新堀 工事完成】

みやぎの運河群の復旧・復興状況



〔復旧・復興の状況【木曳堀】〕



【保全された松並木の様子】



【橋から望む木曳堀】



【阿武隈川合流地点】

みやぎの運河群でのにぎわいと歴史の保全



〔全国運河サミットinみやぎの開催 H30.10〕

サミット



県・沿川10市町・6利活用団体による
全国運河サミットinみやぎ宣言の様子



パネル展



会場の様子

スタディツアー

全国の参加者の皆様で
「運河沿川の震災復興の今」を学んで頂きました。



石巻・東松島コース



仙台湾・松島湾コース



仙台・名取・岩沼コース

みやぎの運河群でのにぎわいと歴史の保全



〔みやぎの運河群沿川での桜植樹の状況〕

【取組状況（位置図）】



【取組状況（植樹の様子）】



みやぎの運河群でのにぎわいと歴史の保全



〔みやぎの運河群沿川での歴史の保全の取組〕



【石井閘門】



【釜閘門】



【釜閘門】
【明治期の閘尾部翼壁(閘室側)の一部の遺構】

○野蒜築港跡橋台の保全

橋台跡にかからないよう
堤防位置を設定

明治初期に行われた日本初の近代港湾の建設に伴い設置された橋台(文化財)を保全するため、橋台に堤防がかからないように、堤防法線を設定し、文化財を保全

【野蒜築港跡橋台の保全】



【御舟入堀発掘調査】
【仙台市HP 発掘調査資料より引用】



【御舟入堀の歴史看板(仙台市)】
伝承の丘より

みやぎの運河群でのにぎわいと歴史の保全



〔みやぎの運河群沿川でのにぎわいの創出〕



【まちづくり事業】



【仙台東部沿岸地域での賑わい創出】



【ゆりあげ船まつり】

みやぎの運河群でのにぎわいと歴史の保全



〔みやぎの運河群沿川でのにぎわいの創出（水辺の利用）〕



【北上運河の様子】



【小舟で巡る運河遊覧会 御舟入堀】



【運河遊覧 御舟入堀】



【御舟入堀アートインスタレーション】



【木造船の乗船体験（新堀）】
（貞山運河倶楽部HP引用）



【カヌー体験（木曳堀）】

15

みやぎの運河群でのにぎわいと歴史の保全



〔みやぎの運河群沿川でのにぎわいの創出〕



【ライドアROUND in 多賀城 with セッカ浜】



【名取市 サイクルスポートセンター】
観光物産協会HPより引用



【新浜地区 サイクリングロード】



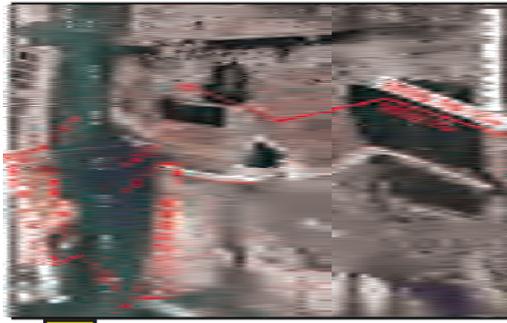
【みちのくトレイル（貞山運河沿いあり）】 東北地方環境事務所HPより引用



【新浜地区 フットパス】

16

〔みやぎの運河群沿川での環境の保全〕



【震災にて流失した蒲生干潟】



【干潟が復活した蒲生干潟】



【北上運河 松並木の保全】



【木曳堀 松並木の保全】



【東名運河 松並木の保全】

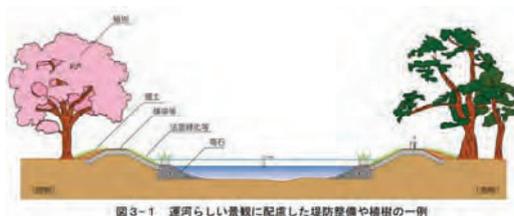


図3-1 運河らしい景観に配慮した堤防整備や植樹の一例

【貞山運河再生・復興ビジョンより抜粋】



NO, 2

環境東北地方事務所

みちのく潮風トレイルの概要



＜グリーン復興プロジェクト＞ 三陸復興国立公園の 創設を核とした グリーン復興

—森・里・川・海が育む自然とともに歩む復興—



みちのく潮風トレイル Michinoku Coastal Trail

「みちのく潮風トレイル」は、青森県八戸市蕪島から、福島県相馬市松川浦まで（4県28市町村）の沿岸約1000kmをつなぐロングトレイル（長距離歩道）です。道は、新たな整備でつくるのではなく、地域にある里道や生活道など既存の道を「みちのく潮風トレイル」として1本の道でつないで、地域の自然環境や、暮らし、震災の痕跡、利用者と地域の人々を「結ぶ道」となることを目指しています。

平成31年4月に、ハイカーの拠点となる「名取トレイルセンター」がオープン。みちのく潮風トレイルの全線の統括本部として、路線管理、情報発信等を実施。

令和元年6月9日をもって全区間が開通し、全長1,025kmのみちのく潮風トレイルの全線の設定が完了。令和3年10月に全線の標識整備が完了予定

＜基本方針＞

1. 自然の恵みを活用する
2. 自然の脅威を学ぶ
3. 森・里・川・海のつながりを強める

16

みちのく潮風トレイルと三陸復興国立公園



みちのく潮風トレイル Michinoku Coastal Trail

総距離1,025 km
一筆書き・一続きの道
ロングトレイル

- ◎世界的にも、国内的にも注目のアクティビティ
- ◎里山歩きも多く、地域の自然や文化と親しむことができる。
- ◎車で通り過ぎたら気が付かない、その地域ならではの魅力を深く感じることができる。



トレイルルートが開通するまで



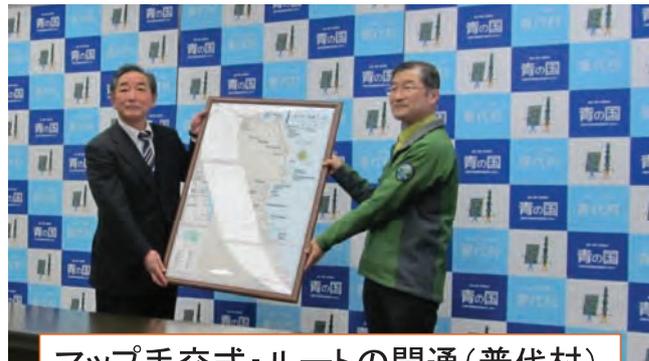
ワークショップ(大槌町)



岩沼市モニターツアー



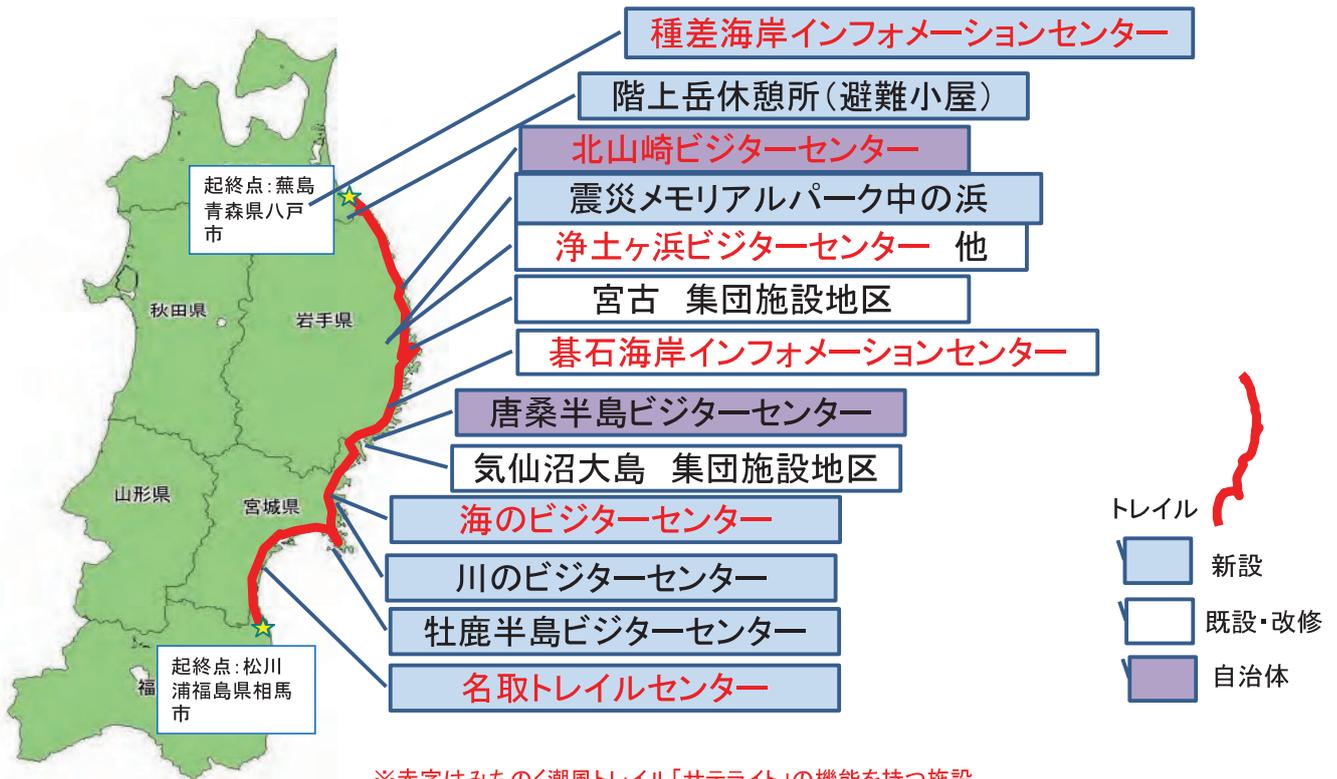
ワークショップ(陸前高田市)



マップ手交式・ルートの開通(普代村)

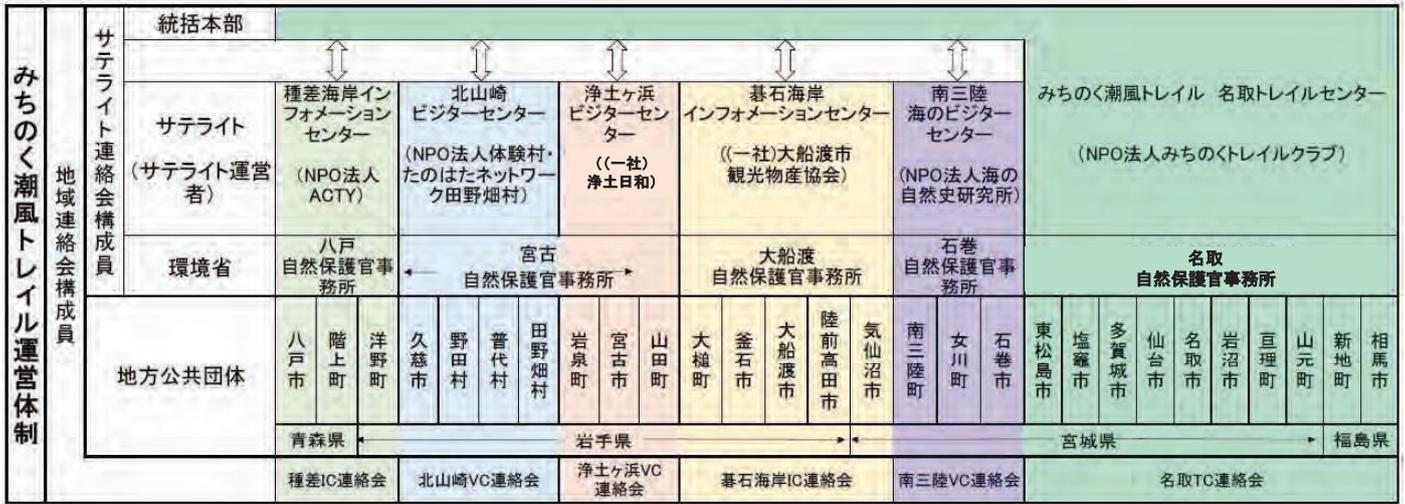
18

トレイルを支える施設整備



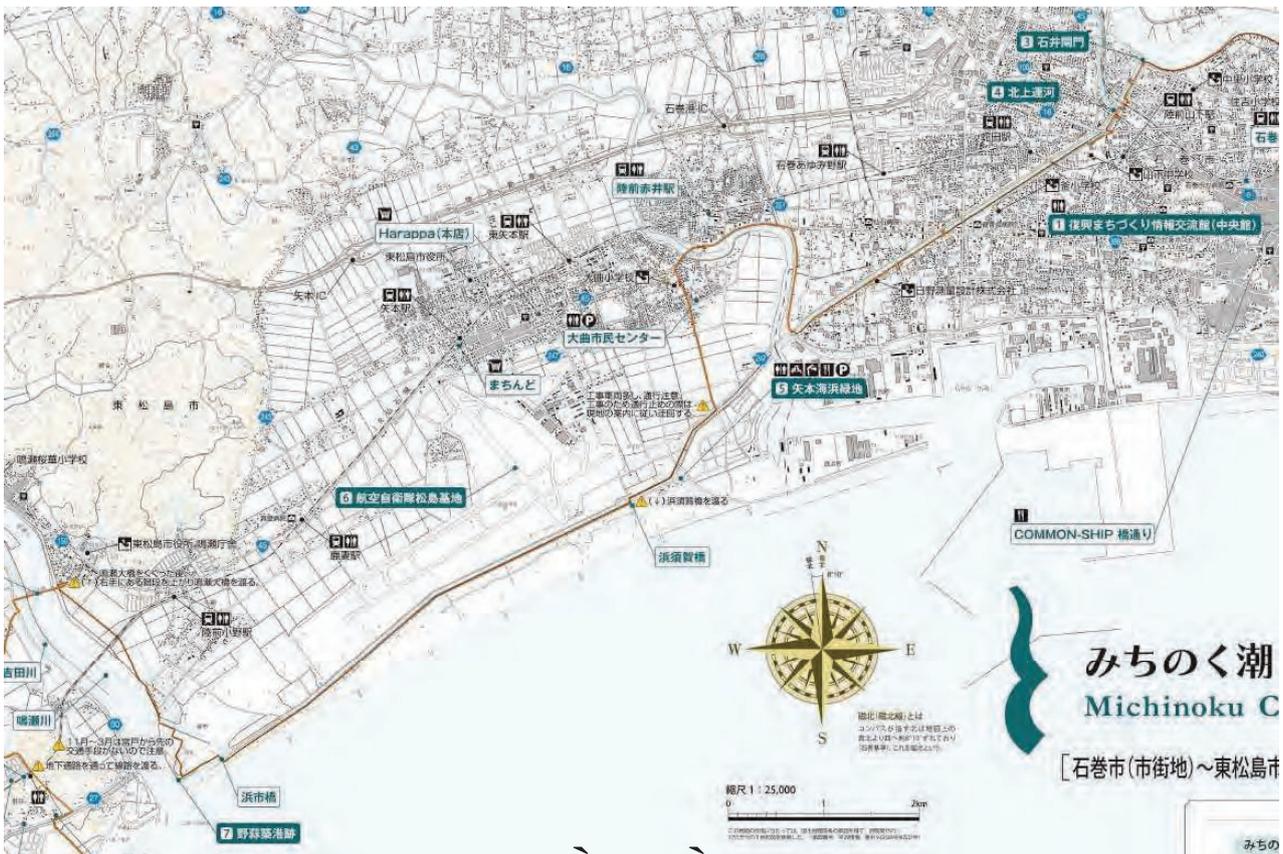
19

みちのく潮風トレイルの運営体制



20

トレイルと北上運河(石巻市・東松島市)



21

トレイルと貞山運河(仙台市)



